

第4章 安全・安心のまちづくり

第1節 潤いのある生活環境づくり

- 1 上水道の整備及び維持・管理
- 2 下水道の整備及び維持・管理
- 3 河川・水路の環境整備

第2節 町民の生命と財産を守るまちづくり

- 1 地域防災対策の推進
- 2 消防・救急体制の充実
- 3 地域医療体制の充実
- 4 交通安全対策の推進
- 5 防犯対策の推進
- 6 消費生活対策の充実

第3節 環境を守り育むまちづくり

- 1 地球環境の保全
- 2 自然環境の保全
- 3 生活環境の向上
- 4 資源循環型社会の形成

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	上下水道課		
副担当課	課			
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり	
	節	1	潤いのある生活環境づくり	
	項	1	上水道の整備及び維持・管理	

1 目指すまちな姿

安全でおいしい水道水が利用できる環境づくりが進んでいます。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
安全でおいしい 水道水の供給 4111	町民が安全でおいしい水道水を利用することができます。	給水普及率	目標	86.2%	86.4%	86.6%	86.8%	87%	B	給水量は毎年増加傾向ではあるが、井戸からの切替による接続が伸び悩んでいることから、水道水の安全・安定性を広く周知し、更なる普及率の向上を図る必要がある。
			実績	86%	86.9%	87.3%	87.9%	88.6%		
水道供給施設などの適切な維持管理・更新 4112	水道供給施設等が適切に機能しています。	水道管耐震化率	目標	53.7%	55.8%	48.5%	49.5%	50.5%	B	未だに耐震化率は低い水準であることから、適正な水道管更新計画により、耐震化の向上を推進する必要がある。 ※令和2年度に管理延長の見直しを行ったため、目標値・実績値を修正している。
			実績	53.5%	56.2%	47.5%	49.1%	50.0%		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B 水道未普及地区の整備を推進しており、概ね計画通りに進捗しているが、整備完了地区の接続が推進されてない状況である。 令和2年度に再策定した「水道施設整備基本計画書」により新たな更新計画を立案しているが、耐用年数の関係から中・長期的な更新計画となっており、耐震化の完了には相当な期間を要する見込みである。

4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II 「水道施設整備基本計画書」の更新計画について、漏水発生状況等を踏まえた計画内容の見直しが必要である。

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	上下水道課	
副担当課	課	生活環境課	
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	1	潤いのある生活環境づくり
	項	2	下水道の整備及び維持・管理

1 目指すまちの姿

生活排水が適正に処理され、公衆衛生並びに河川・霞ヶ浦の水質が確保されています。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
公共下水道の整備 と適切な維持管理・更新 4121	公共下水道が整備されるとともに、公共下水道の施設の適切な維持管理により、町民が快適で安心な環境で生活しています。	公共下水道普及率	目標	69.1%	69.4%	69.6%	69.9%	70%	B	下水道の整備促進により普及率は向上しているが、下水道未接続者の解消に向けた対応を強化する必要がある。
			実績	69.3%	70.1%	71.0%	71.3%	72.1%		
農業集落排水事業の健全経営 4122	農業集落排水施設の適切な維持管理によって汚水浄化が進み、農業用排水や公共用水域の水質が保全され、町民が快適な環境で生活しています。	接続率	目標	79.0%	81.0%	83.0%	84.0%	85%	C	接続補助金等の活用により接続率の向上に努めているが、大幅な改善が図れない状況である。また、広域化の一環として公共下水道への統合が決定したことから、統合を踏まえた今後の対策検討が必要である。
			実績	79.1%	80.9%	81.1%	81.8%	81.9%		
高度処理型浄化槽の普及促進 4123	高度処理型浄化槽が普及するとともに、適切に維持管理されています。	高度処理型浄化槽の設置補助件数(年間)	目標	70件	70件	70件	70件	74件/年	B	家庭排水浄化対策として合併浄化槽へ転換する家庭は多いが、いまだ単独浄化槽を使っている家庭もあることから、啓発活動の必要がある。
			実績	81件/年	63件	61件	62件	60件		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	C

4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	III

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	都市整備課	
副担当課	課	上下水道課	
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	1	潤いのある生活環境づくり
	項	3	河川・水路の環境整備

1 目指すまちの姿

治水と親水性を持つ河川が整備され、市街地等の雨水排水と合わせて、
浸水被害が少ない安全なまちになっています。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値						個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
河川環境の保 全と整備 4131	町民が河川に親しみ、自らが管 理を行っています。	河川清掃への参 加者数	目標	75人	90人	120人	150人	184人 /年	B	河川清掃ボランティア活動への参加者数 は、目標値を下回ったものの、前年度より 増加したが、依然、高齢化の進行によって 参加者数の減少が危惧される。
			実績	75人/ 年	78人	144人	110人	141人		
公共下水道雨 水施設の整備 4132	新市街地における雨水排水施 設が整備され、町民が安全な環 境で生活しています。	公共下水道雨水 整備区域	目標	173.6 ha	360 ha	360 ha	360 ha	360 ha	B	新市街地である荒川本郷地区の開発動向 を見極め、今後の整備計画を検討していく 必要がある。
			実績	173.6 ha	183.4 ha	295.7 ha	295.7 ha	295.7 ha		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評 価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	C

4 今後の方向性

手段を見直す必 要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	防災危機管理課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	1	地域防災対策の推進

1 目指すまちな姿

「町民（自助）」、「地域コミュニティ（共助）」、「町（公助）」がそれぞれの責務と役割を認識し、相互に連携を図り、防災力が向上しています。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
地域防災力の 向上 4211	災害時の被害を最小限にするため、町民が自発的に地域防災に取り組んでいます。	地区防災計画の策定率	目標	36%	47%	56%	65%	70%	C	令和4年度は地区あたりのワークショップ回数を減らして開催し、7地区の地区防災計画を策定した。予定していた数の地区防災計画を策定することはできなかったため、今後はマニュアルや手法を再構築することにより、早期の全地区完了に向けて支援する必要がある。
			実績	24%	36%	36%	36%	47%		
		自主防災組織の訓練実施率	目標	30%	35%	39%	44%	50%	C	
			実績	24%	24%	5%	6%	12%		
防災機能の強化 4212	災害時に被害を最小限にとどめるため、危機事態への迅速・的確な初動態勢を確立しています。	災害対策本部組織の機能別訓練実施回数	目標	6回	7回	8回	9回	10回/年	A	訓練の目標回数を上回る訓練回数を行うことができた。今後も計画的な訓練の実施や、実践に即した訓練等を通じて、公助の能力を向上させていく。
			実績	6回/年	6回	7回	8回	16回		
		情報伝達（収集）手段の整備件数	目標	6件	7件	7件	7件	8件	B	
			実績	5件	6件	7件	7件	7件		
災害時応援協定の締結 4213	災害時の応援体制及び受援体制が整い、民間事業者や他自治体から応急対策等の協力が得られています。	民間事業者との協定締結数	目標	37件	38件	39件	40件	40件	A	災害対策に必要な業種を選定して積極的に締結を推進していく必要がある。
			実績	35件	40件	45件	47件	51件		
		県外自治体との協定締結数【1272の再掲】	目標	2件	2件	2件	3件	4件	C	
			実績	2件	2件	2件	2件	2件		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	防災危機管理課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	2	消防・救急体制の充実

1 目指すまちの姿

消防体制及び救急救護体制が一層充実し、安全で安心な生活が確保されています。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
非常備消防体制の充実 4221	地域に密着した災害活動を行うことにより、町民の安全を確保し、町民主体の消防体制が確立されています。	消防団員充足率	目標	85%	87%	89%	90%	91%	B	条約定数を改正し、実団員数に近づけることにより充足率を高めたが、消防団員数は減少の一途をたどっている。今後も、団員の確保に努めていく必要がある。
			実績	77.4%	72.6%	67.4%	66.7%	87.0%		
消防・救急体制の強化 4222	町民が緊急時に適切な救急搬送サービスを受けています。	広報あみ・ホームページ等での救急車の適正利用についての周知回数	目標	3回	3回	3回	3回	3回	B	本郷ふれあいセンターの救急車駐留は着実に効果を上げています。ただし、適正利用がされなければ本来必要な人が利用できなくなるため、周知回数や新たな手法を取り入れながら、稲敷広域消防本部との綿密な協議が必要である。
			実績	3回	3回	3回	3回	3回		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	III

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	健康づくり課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	3	地域医療体制の充実

1 目指すまちの姿

医療体制が充実し、町民が安心して暮らすことができるまちになっています。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
地域医療体制の充実 4231	病院及び診療所などの連携により、町民が一層充実した医療サービスを受けることができます。	「かかりつけ医」・「かかりつけ歯科医」の普及啓発を行った人数	目標	500人	1,000人	2,000人	3,500人	5,000人	C	町民が健康に関心を持ち、自らの健康管理ができるよう、かかりつけ医・歯科医の普及啓発が必要だが、より多くの人に啓発を行うことができるよう、引き続き検討が必要である。
			実績	329人/年	393人	1,061人	1,577人	1,830人		
救急医療体制の充実 4232	町民誰もが、必要な時に休日や夜間の救急医療を受けることができます。	病院群輪番制実施日数	目標	365日	365日	365日	365日	365日/年	A	病院群輪番制はすでに365日の実施ができており、小児救急医療輪番制についても、R2年度から医療機関の協力が得られ、祝日を含め365日実施となった。今後もこの体制を維持していく必要がある。
			実績	365日/年	365日	365日	365日			
		小児救急医療輪番制実施日数	目標	344日	365日	365日	365日	344日/年	A	
			実績	344日/年	337日	365日	365日			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B 病院群輪番制・小児救急医療輪番制については365日の実施ができています。 かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及啓発については引き続き更なる実施が必要である。

4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II 「かかりつけ医」・「かかりつけ歯科医」の普及啓発については、あみメール等の活用や新たな周知方法を検討し、より幅広い年齢層に継続して啓発していく。

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	生活環境課	
副担当課	課	道路課, 学校教育課	
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	4	交通安全対策の推進

1 目指すまちの姿

交通事故がなく、町民が安全・安心に暮らせるまちになっています。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況	
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
交通安全対策の 充実 4241	町民が交通安全に関する高い意識を持ち、安心して生活しています。	交通安全教室の 参加者数	目標	5,400 人	5,800 人	6,200 人	6,600 人	7,000 人	B	コロナ禍により人数制限を行いながら実施をしているため、交通安全教室の参加者数が目標値に達していない。	
			実績	5,055人/年	4,005 人	900 人	3,336 人	3,415 人			
		交通安全教室開 催数	目標	50回	55回	60回	65回	70回 /年	A		
			実績	46回/年	33回	25回	70回	81回			
交通安全施設の 充実 4242	交通事故を未然に防ぐ環境と なっています。	信号機設置数	目標	103基	103基	103基	104基	105基	B	地元の要望が警察署で通るよう、資料作成を行っているが、警察署の設置基準のハードルが高く、地元要望が通らない。	
			実績	102基	103基	103基	103基				
		ゾーン30の指定 箇所数	目標	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	B		
			実績	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所				
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評 価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	A

4 今後の方向性

手段を見直す必 要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	I

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	生活環境課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	5	防犯対策の推進

1 目指すまちの姿

防犯対策が推進され犯罪のない安全・安心なまちになっています。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況			
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
防犯意識の普及啓発等による防犯体制の強化 4251	町民が自主的に防犯活動を実施し、安全に生活しています。	防犯活動支援団体件数	目標	46件	51件	56件	61件	66件	C	町民が安全に生活するためには、防犯活動支援団体数を増やしパトロール数を増やす必要があるが、実態は活動団体数は増えていないため、すべての行政区に防犯活動に参加してもらえるよう検討を行う必要がある。	
			実績	42件	42件	42件	42件	42件			
		青色防犯パトロールの回数	目標	450回	490回	520回	560回	600回			B
			実績	413回/年	423回	319回	394回	473回			
安全な地域づくりのための環境整備 4252	防犯灯や防犯カメラの整備、空き家対策などにより、犯罪の起きにくいまちになっています。	LED防犯灯数	目標	6,000灯	6,000灯	6,000灯	6,000灯	6,000灯	A	地域の安全を確保するため、空き家の改善指導を行っているが、所有者のほとんどが町内に住んでいないことから、改善策に応じてもらえない。	
			実績	5,916灯	6,028灯	6,095灯	6,153灯	6,241灯			
		空き家苦情による指導後の対応率	目標	48%	56%	64%	72%	80%			C
			実績	42%	38%	39%	39%	30%			
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								
			目標								
			実績								

3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	III

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	商工観光課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のみちづくり
	節	2	町民の生命と財産を守るまちづくり
	項	6	消費生活対策の充実

1 目指すまちの姿

すべての町民の消費者としての権利が守られ、安全・安心な消費生活を送っています。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
安全な消費生活の推進 4261	町民が安心して消費生活を送っています。	消費生活の啓発活動の実施回数	目標	24回	24回	25回	25回	26回	A	コロナ禍の影響により出前講座件数が減少しているため、啓発活動の見直しが必要となる。
			実績	25回	17回	18回	20回	35回		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	A

4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	生活環境課	
副担当課	課		
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	3	環境を守り育むまちづくり
	項	1	地球環境の保全

1 目指すまちの姿

町民・事業者・行政がそれぞれの役割を認識し、責任を持って積極的な地球環境保全活動に取り組んでいます。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
地球環境保全 の推進 4311	町民や行政が役割を認識し、 責任を持って積極的な地球環境 保全に取り組んでいます。	町内公共施設に おける温室効果ガ ス排出量	目標	2,910 t-CO2	2,870 t-CO2	2,830 t-CO2	2,790 t-CO2	2,746 t-CO2	B	ゼロカーボンシティ宣言を表明したことか ら、今以上に成果が上がる取組を実施 していく必要がある。
			実績	2,957t -CO2	2,910 t-CO2	2,695 t-CO2	2,881 t-CO2	算出 中		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評 価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

4 今後の方向性

手段を見直す必 要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	農業振興課	
副担当課	課	生活環境課, 都市計画課, 上下水道課, 商工観光課, 道路課	
総合計画の位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	3	環境を守り育むまちづくり
	項	2	自然環境の保全

1 目指すまちな姿

恵まれた自然環境を次世代へ継承するため、町民、地域及びボランティア組織等が霞ヶ浦や、平地林、農業生産基盤の保全に取り組んでいます。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
豊かな森林の保全 4321	豊かな森林を次世代に継承できるように、適切な管理や維持・保全が図られています。	平地林整備面積 (累計)	目標	158 ha	158.5 ha	159 ha	159.5 ha	160 ha	A	R4より制度の見直しを実施した。引き続き効果的な事業実施を進めていく。 阿見町森林整備事業 吉原団地・若栗団地 0.34ha
			実績	150 ha	158 ha	165.9 ha	171.2 ha	171.5 ha		
農村環境の保全 4322	地域ぐるみでの環境保全により農地や水路などが保全され、美しい農村景観の中で農業が営まれています。	農地維持支払交付金・資源向上支払交付金対象面積 【3313の再掲】	目標	338 ha	338.5 ha	339 ha	339.5 ha	340 ha	B	地域の共同活動により農村の多面的機能の維持が図られている地域がある一方、高齢化などの理由により取り組みを中止する地区もある。
			実績	327 ha	338 ha	405 ha	405 ha	403 ha		
霞ヶ浦の保全 4323	霞ヶ浦の水質が改善されています。	霞ヶ浦の水質検査のCOD	目標	7.4mg/l以下	7.4mg/l以下	7.4mg/l以下	7.4mg/l以下	7.4mg/l以下	B	公共下水道・農業集落排水事業・合併浄化槽等家庭排水浄化対策と住民意識は高まっている。流域の水田・蓮田等からの肥料成分の流入が課題である。
			実績	7.3 mg/l	6.9 mg/l	7.3 mg/l	7.7 mg/l	算出中		
河川の推進保全 4324	霞ヶ浦流入河川の水質がきれいな状態に保たれています。	河川の水質検査のCOD	目標	7.9 mg/l	6.9 mg/l	5.9 mg/l	4.9 mg/l	4.0 mg/l	B	公共下水道・農業集落排水事業・合併浄化槽等家庭排水浄化対策と住民意識は高まっている。流域の水田・蓮田等からの肥料成分の流入が課題である。
			実績	8.9 mg/l	3.7 mg/l	3.4 mg/l	5.5 mg/l	5.3 mg/l		
霞ヶ浦の水辺の整備 4325	水生植物の保全が図られるとともに、水辺環境が整備され、憩いの場として活用されています。	霞ヶ浦の清掃活動の参加者数	目標	310人	320人	330人	340人	350人	B	新型コロナウイルス感染症により3年ぶりの開催となったが、多くの方の参加を得られた。引き続き参加の呼びかけや周知が必要である。
			実績	303人/年	179人	0人	0人	300人		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

3 施策の進捗状況

指標等の成果を基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	I

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	生活環境課	
副担当課	課	廃棄物対策課	
総合計画の 位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり
	節	3	環境を守り育むまちづくり
	項	3	生活環境の向上

1 目指すまちの姿

町内で活動するすべての人たちが、他人に迷惑をかけないという規範意識や責任感を持ち、近隣の共助により、互いに暮らしやすいまちになっています。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値					個別施策の達成状況		
			H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題
環境美化の推進 4331	ごみのポイ捨てや不法投棄がなく、きれいな環境の中で町民が生活しています。	空地の雑草苦情による指導後の対応率	目標	100%	100%	100%	100%	100%	B	環境美化に対する啓発活動の必要がある。
		実績	97%	98%	96%	93%	90%			
		不法投棄パトロールで回収したポイ捨てごみの量	目標	35t	31t	27t	23t	20t/年	B	
		実績	31.27t/年	31.72t	23.31t	24.45t	24.29t			
動物愛護の普及啓発 4332	ペットが家族の一員として大切に飼われています。	町に保護された犬・猫の譲渡返還率	目標	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	B	狂犬病予防注射接種率を上げるための啓発活動の方法を検討する必要がある。
		実績	74%	75%	98%	96%	88%			
		狂犬病予防接種率	目標	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	B	
		実績	66%	67%	61%	57%	62%			
環境対策の推進 4333	町民が公害の被害を受けず、健康に生活しています。	騒音・振動・悪臭などの指導後の対応率	目標	100%	100%	100%	100%	100%	A	騒音・振動・悪臭以外の法律で違反があるかを調べ、違反があるようであれば、その担当課と一緒に指導を行っていく。
		実績	87%	76%	100%	100%	100%			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							

3 施策の進捗状況

指標等の成果を 基に総合的に評価	区分	進捗状況区分を選択した理由
	A 順調に進捗している B 概ね目標達成に向けて進捗している C 一部進捗に遅れが生じている D 進捗が大幅に遅れている	B

4 今後の方向性

手段を見直す必要性を評価	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
	I 現状のまま継続する II 一部見直し等の余地がある III 見直し等の余地が大きい IV 抜本的に見直し等が必要	II

令和5年度 施策評価シート

主担当課	課	廃棄物対策課		
副担当課	課			
総合計画の位置づけ	章	4	安全・安心のまちづくり	
	節	3	環境を守り育むまちづくり	
	項	4	資源循環型社会の形成	

1 目指すまちの姿

町民、事業者、行政が連携し、ごみの発生抑制と再利用・再資源化などに努め、資源循環型社会を形成しています。

2 個別施策の目標達成状況

個別施策名 (施策コード)	後期の成果	指標名	基準値及び目標値							個別施策の達成状況		
				H30 (基準)	R1	R2	R3	R4	R5	評価	個別施策の課題	
ごみの減量化・リサイクルの推進 4341	ごみの再資源化等により、ごみの減量化が図られています。	ごみの資源化率	目標	/	20%	20.5%	21%	21.5%	22%	C	今後もごみの減量化に努める。	
			実績	19.8% (H29実績)	18.1% (H30実績)	23.5% (R01実績)	16.1% (R02実績)	9.3% (R03実績)				
		ごみ収集量	目標	/	20,780t	20,560t	20,340t	20,120t	19,900t/年			B
			実績	20,952t (H29実績)	20,509t (H30実績)	18,409t (R01実績)	18,684t (R02)	19,259t (R03)				
ごみ処理施設の適正な運営・維持管理 4342	ごみの処理が適正に行われています。	排出ガスなどの排出基準達成率	目標	/	100%	100%	100%	100%	100%	B	今後も適正な維持管理と運用を行う。	
			実績	100%	100%	100%	100%	100%				
		不具合による運転停止日数	目標	/	0日	0日	0日	0日	0日			B
			実績	0日	0日	0日	0日	0日				
			目標	/								
			実績									
			目標	/								
			実績									
			目標	/								
			実績									
			目標	/								
			実績									

3 施策の進捗状況

	区分	進捗状況区分を選択した理由
指標等の成果を 基に総合的に評価	C	ごみの資源化率が目標値を大きく下回っている。

4 今後の方向性

	区分	方向性区分を選択した理由及び今後の方向性
手段を見直す必要性を評価	III	ゴミの減量化が大きく叫ばれており、それを進めていくためには町民のゴミに対する意識を根本的に改革していかなければならず、再利用、再資源化に向けて具体的な方策を町民・事業者に訴えていくことが求められる。